

第42回保育総合研修会

開催要綱

テーマ

子ども・保護者・
保育者が輝く
日本の保育を求めて
…実践と研究の交わる
ところ

趣旨

子ども・子育て支援制度が本格施行され、やがて2年が経とうとしています。この制度が始まる前と今で、一体何が変わったのでしょうか。

深刻な子どもの貧困問題や、教育経済学が示す「乳幼児教育への投資とその経済的効果」に関する知見、日本の教育への公的投資額や乳幼児の教育職への報酬に関する OECD の指摘、さらには過去に国連より出された「子どもの権利条約」に関する日本への勧告等、日本における子どもや保育・教育が直面する多くの課題解決は今もって道半ばです。

今、日本に必要なものは、子どもたちの人権を守り、最善の利益を図る保育環境と、保護者も、保育者も人として生き生きと生活し成長できる社会環境の両立であり、その実現に価値を置く社会の創出です。そのような社会を可能にするためには、私たち保育者が、明確な目的意識と情熱を持ち、その価値を裏付ける明確な根拠(=エビデンス)を手にする必要があります。

では、そのようなエビデンスは一体どこから生まれてくるのでしょうか。研究者の頭脳からでしょうか、それとも日々の保育実践なのでしょうか。

おそらくは、まず、子どもに思いを寄せる保育者による日々の保育実践への振り返りや問いかけがあり、そこに話し合いが生まれ、様々な疑問や課題が見出され、その一方に、願いと志を共有し、それら諸課題を学問的に解決しようとする研究者が存在する。その両者が有機的に交わるところに、エビデンスが成立する可能性が見出されるのではないのでしょうか。

もし、そうであるならば、実践(保育)と理論(研究)は決して対立するものでもなければ、どちらかが優位に立つものでもないでしょう。本研修会は、日々の保育実践の質を向上させ、子どもの最善の利益を実現し、同時に保護者も保育者も幸せになれる。その方法としての、実践と研究のあるべき協働性を、参加者の皆さんとともに探ろうという試みです。

期日

2017年

1月25日[水]~27日[金]

会場

神戸市

ANA クラウンプラザホテル神戸

〒650-0002 神戸市中央区北野町1丁目

TEL 078-291-1121 / FAX 078-291-1151

定員

600名

参加費

19,000円(非会員21,000円)

*資料代及び消費税を含みます。

懇親会費

8,500円

宿泊費

ANA クラウンプラザホテル神戸

A: 13,000円(シングル)

B: 10,800円(ツイン)

*各タイプとも、1泊朝食付、消費税を含みます。

昼食

1,900円(1/26・弁当)

主催

公益社団法人

全国私立保育園連盟

協力

公益社団法人

神戸市私立保育園連盟

協賛

A I U損害保険株式会社

東京海上日動火災保険(株)

(有)ゼンポ (株)トーホ

(株)サンワールド

(一般財団)総合福祉研究会

開会挨拶

基調報告・提言…全私保連常務理事

行政説明…厚生労働省 依頼中

基調講演

人間学としての保育学のために

…「保育における〈養護の働き〉と〈教育の働き〉」および
「保育の根幹をなす〈接面〉」について考える

鯨岡 峻氏 京都大学名誉教授

「子ども・子育て支援制度」施行2年目を迎えました。そもそも、新制度は「子どもの最善の利益」を目指すものです。しかしながら、「待機児童問題」が騒がれることはあっても、「子どもの育ち」を中心にした議論は、まだまだおろそかにされています。一方で、乳幼児期における「『非認知能力』の育ちの大切さ」がにわかに注目されています。しかし、成果のみを強調しすぎる議論に偏ると、第2の能力論やその育成のための安易な保育（教育）システム論に行きつく可能性があります。

私たち保育者は今一度ここで立ち止まり、これまでの「子ども観」や「保育（教育）観」を反省し、再構築する必要がありますのではないのでしょうか。今回、基調講演として、鯨岡峻氏より「『子どもの心の育ち』を大切にした保育（教育）」という視点から、第1に、「保育における『養護の働き』と『教育の働き』の意味」、第2に、その養護や教育の根底にあるべき、子どもと保育者の間に成り立つ「接面」という現象について論じていただきます。

懇親会

第1分科会 園内研究・研修のあり方 [定員60名] …研究者等との協働のあり方

■運営 全私保連・研修部

●講師

瀧川光治氏●大阪総合保育大学教授

専門職である保育者には、個人として、チームとして、日々の実践を多様な視点で振り返り、省察し、評価し、絶えず保育の質的改善と向上を目指すことが求められています。そして、その取り組みにあたっては、園内研究・研修に研究者等、園外の第三者の視点を取り入れることでより深められます。

この分科会では、その意義や具体的方法について皆で学び、共有できる場になればと願っています。

第2分科会 社会性のゆりかごとしてのアタッチメント [定員60名]

■運営 全私保連・研修部

●講師

遠藤利彦氏●東京大学大学院教授

乳児期の子どもは怖がりであり、常に不安を抱えていて、泣きながら身近な誰かにくっついて安心感・安全感を得ようとする存在です。そして、一日に何回も繰り返される「くっついて安心する」という行為を、いかに確実に安定して経験できるか否かが、生涯にわたる心身の健康な発達のカギになるともいわれています。

この分科会では、集団生活を営む保育園の中で「どのようにすれば、子どもたちにこのような安心感をもった生活を保障できるのか」について学びたいと思います。午前中の3時間は「社会性のゆりかごとしてのアタッチメント」をテーマに、遠藤利彦氏の講演、午後はそれを実現するための実践を持ち寄り、学び合います。

第3分科会 心の育ちを大切にした「養護」と「教育」 [定員60名] のあり方

■運営 全私保連・研修部

●講師

大倉得史氏●京都大学大学院准教授

保育の中心である「心を育てるための『養護』と『教育』のあり方」について学びます。

講師は、鯨岡峻氏（京都大学名誉教授）の下で学ばれた、大倉得史氏です。氏には、鯨岡保育理論の中核である「養護」と「教育」理論をより具体的に発展させた「発達段階別の『養護』と『教育』の具体的姿」を、エピソードを通してお話しいたします。

目に見える「できる」「できない」にとらわれない、子どもの「心の育ち」を大切にした「保育」・「(学校)教育」の具体的指針をともに学びましょう。

第4分科会 すべての子どもに求められる制度の [定員100名] 充実に向けて

■運営 全私保連・保育制度検討会

●講師 (助言者)

行政関係者、有識者 (予定)

「一億総活躍社会」の実現に向けた「新・三本の矢」の中で、「夢を紡ぐ子育て支援」として、すべての子ども・子育て支援が日本の未来を支えるための重要な施策として位置づけられました。また今後、保育の質・機能の向上のために、保育士の処遇改善等加算の増額や各年齢保育のさらなる職員配置基準の充実が必要です。一方で、人口減少問題をはじめ、貧困や虐待など子どもを取り巻く社会環境は刻一刻と変化しています。

こうした状況も視野に入れ、すべての地域の子どもの最善の利益を守るために、よりよい保育・子育て支援の制度に向けて、当分科会に参加された方々とともに検討しながら、問題意識や共通認識を探りたいと考えています。

第5分科会 呼びかけ向き合ってもらえる権利を [定員50名] 考える (子どもの権利条約)

■運営 全私保連・保育国際交流運営委員会

●講師

木附千晶氏 ●臨床心理士

2009年に木附千晶氏が執筆された『迷子のミーちゃん—地域猫と商店街再生のものがたり』(扶桑社)という本が昨年映画化、上映されました。そこでは、迷子になった猫を通して、「一見、人に頼って生きているように見えてしまう小さな存在から、じつは人のほうが多くをもらって助けられていること」「あらゆる命はみんなかけがえがなく、経済的には役立たない弱い存在も安心して暮らせる社会こそが、だれもが生きやすい社会なのだ」という、いかにも木附氏らしいテーマが投げかけられていました。

子どもの権利は、まずは「愛される権利」から始まっていると木附氏は述べ、子どもの権利とは、「世界でたった一人しかいないあなたが、輝きながら大きくなるための権利」であり、そのためには大人に「呼びかけ向き合ってもらえる権利」が必要であると心理学の視点から説明されています。このことを、保育という営みを通してみなさんと考え、保育の質を高めたいと思います。

子どもの権利条約は決して難しい話ではありません。それは、子どもの最善の利益を考えた保育そのものがそっくり当てはまるからです。

第6分科会 保育カウンセリングを学ぶ [定員60名]

…保育力・笑顔・やる気をアップする理論と技法

■運営 全私保連・保育カウンセラー企画委員会

●講師

大竹直子氏 ●千葉大学カウンセラー

保育カウンセリングは、子どもや保護者の心に寄り添い、かかわり合い、育てるための理論であり実践です。そして、そのために欠かせないことが、よりよいチームワークの中で、一人ひとりの保育者が自分らしく、楽しく、保育をすることです。

この分科会では、保育者が「子ども、保護者、同僚との関係性の中で、自分らしさを生かし、楽しく仕事をしていくための理論と技法」に焦点を当てて、保育カウンセリングを学んでいきます。

保育者がイキイキ楽しく仕事をするには、保育園を元気にし、子どもや保護者を元気にします。自分の中の「イキイキ」を取り戻し、もっと保育に生かせるよう、一緒に学んでまいりましょう。

なお、この分科会は、グループを組んで話し合いをしながらすすめていきます。保育者の方々には体験から得ている知恵があります。その知恵をとおして、ご紹介する理論や技法について話し合うことで、保育において大切な気づきと学びをさらに深めることができるでしょう。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第7分科会 子どもの心を語り合える園内風土の構築 [定員80名] …子どもの心を支える保育を行う園になるために

■運営 全私保連・全私保連運動推進委員会

●講師

大豆生田啓友氏●玉川大学大学院教授

全国で、子どもの心を支える保育実践を行っていかこうとする園が増えています。しかしながら、園全体での取り組みへと広がらず、一部の保育者の動きになってしまっているという話も聞こえてきます。心を支える保育実践を園全体での取り組みへと広げていくためには、保育者間で子どものことを語り合える園内風土が必要です。

この分科会では、保育者間で、子どもの心の語り合いができる園内風土構築をし、子どもの心をみんなで語り、みんなで支えていく園づくりについて学んでいきます。

第8分科会 保育実践と対話 そのアプローチ [定員60名] …私たちが見直した保育 その理由（グランドデザイン）

■運営 全私保連・保育・子育て総合研究機構研究企画委員会

保育を見直したい。そう思ったのはなぜか？ 何をたよりにし、どんな苦勞をし、園のスタッフとどんな議論を重ねたのだろう？ 親とはどう向き合ってきたのだろう？

この分科会では、保育を見直ししてきた園長たちが登壇して、自園の実践を語ります。変えようとしたことには理由があり、その理由こそが、それぞれの園長（園）が描こうとしたグランドデザインなのではないか。実践の報告をたたき台にして、参加者と対話を深めます。

これを機会に、自園の保育を見つめ直してみませんか。ぜひご参加ください。

記念講演

子どもと保育者との対等性を築くために …アドラー心理学に学ぶ

岸見一郎氏●日本アドラー心理学会認定カウンセラー

国連による、子どもの権利条約に関する、日本への過去の勧告によれば、日本の学校教育が、「子どもの権利を十分に保証せず、人として対等に扱っていない」状況にあること、「その結果、自殺やいじめにつながっていること」を、指摘しています。

一方、世界の三大心理学の一つに数えられる、アドラー心理学の研究者であり、哲学者の岸見一郎氏が著した、同心理学に基づく小説『嫌われる勇気—自己啓発の源流「アドラー」の教え』（古賀史健との共著、ダイヤモンド社、2013年）は、日本や韓国で100万部を超えるベストセラーとなり、その読者の多くが若い世代とされています。

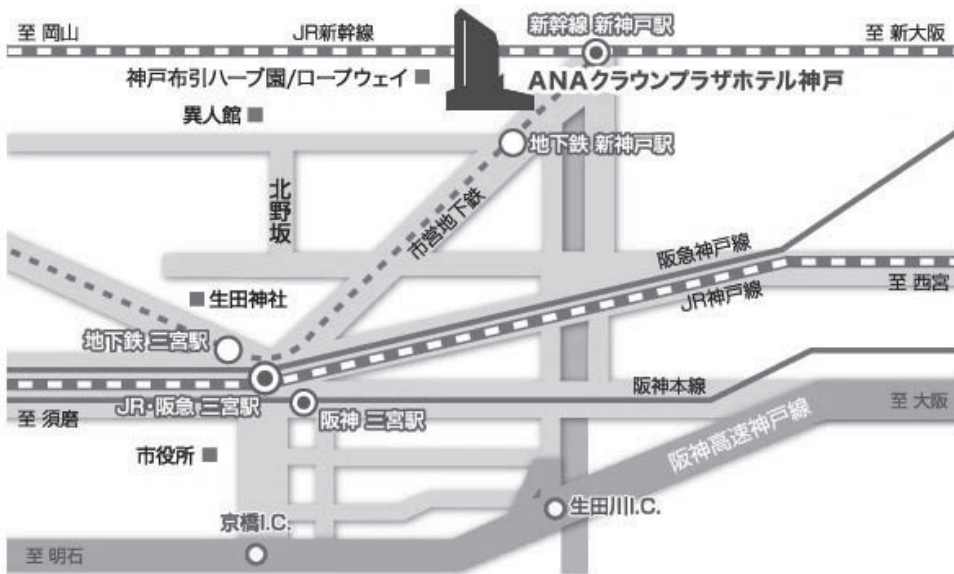
アドラー心理学は、「自分にとって価値があると思える未来（＝目的）に向かって、他者の評価を気にせず、自分自身の人生を生きる『勇気』」を重んじています。また、子どもの教育については、大人が、子どもを「人として対等に尊重すること」「その存在自体に価値を見出すこと」、そして、それによって「子どもが自分の課題に立ち向かう勇気」をもつこと、を重視しています。このようなアドラー心理学に、現代の閉塞的な日本社会で教育を受けた・受けている若者たちは、その問題の本質と、その克服の道を見出しているのでしょうか。

本研修会のテーマである、子ども・保護者・保育者、いずれもがその価値を認められる、その人らしく生きることができる環境・社会の実現には、アドラー心理学の考え方が、大きな示唆を与えるはずです。

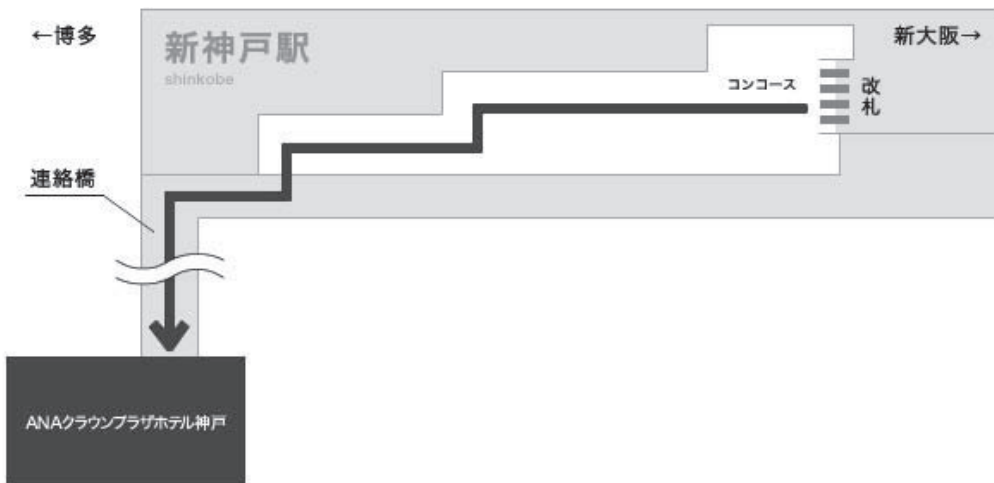
日程

		12:00	12:30	13:00	14:00	14:15	17:00	18:30
第1日目 (1月25日)	9:00	受付	開会 提言 基調報告	行政説明	休憩	基調講演	移動	分科会 打合せ会 懇親会
第2日目 (1月26日)		分科会		昼食	分科会			
第3日目 (1月27日)		記念講演	閉会	16:30				

11:30



- ◆山陽新幹線・神戸市営地下鉄「新神戸駅」直結
- ◆三宮（JR・阪神・阪急）より市営地下鉄でひと駅
 - * 関西国際空港より三宮まで：空港リムジンバスで70分
 - * 神戸空港より三宮までポートライナー18分



- ◆新幹線 新神戸駅からのアクセス
改札口からコンコースを直進し、突き当たり左側の連絡橋渡ってすぐ

参加申し込み方法

参加申込書の送付

- * 申込書に必要事項をご記入のうえ、(株) JTB ビジネスネットワークまで FAX にてお送りください。

【申込締切日】 2016年12月2日(金)
(締切以前に定員に達した場合は、以後のお申し込みはキャンセル待ちとなります)



参加費のお支払い

- * 参加費は申込受理の FAX 到着後、10日以内に下記の銀行振込口座にお振込みください。
- * 定員に達している場合はキャンセル待ちとなります。その場合はご連絡いたします。
ご入金の確認をもってお申込み完了となりますので、確実にお支払いくださいますようお願いいたします。
- * ご入金の確認ができなかった場合、受講できませんので予めご了承ください。
- * 当日精算はいたしませんのでご了承ください。

■ 参加費等振込み先

みずほ銀行 十四号支店
普通預金 口座番号 0681430
口座名義 カ) JTB コーポレートセールス

- ・振込人名義は社会福祉法人は省略し、「〇〇保育園」にてお願いいたします。
- ・請求書の発行はいたしませんのでご了承ください。
- ・原則、領収書は発行いたしません。振込時の利用明細書をもって領収書のかわりとさせていただきますので、申込書とともに必ず保管してください。
- ・振込手数料は各自負担となりますので、予めご了承ください。



参加券等の発送

- * 入金確認の取れた方には1月10日(火)以降、参加券・会場案内等を発送いたします。参加分科会は、この最終案内でご通知いたします。
- * 参加券等は当日必ずご持参ください。

【返金について】

- * 取消の場合でも参加費は返金いたしません。
代理参加は可(ただし、3日間通して同じ方の参加が原則です)。
欠席された方には研修会終了後、資料をお送りいたします。
- * 宿泊費は1月18日(水)までにキャンセルの場合、返金いたします。

【その他】

- 交通のチケット予約等は、ご自身で手配してください。
- 体調不良・アレルギー等がありましたら、事前に事務局までご相談ください。

★個人情報の取り扱いについて

- ・「参加申込書」に記載された個人情報は、慎重に管理し、本研修会の運営・管理の目的に限り使用いたします。
- ・また、研修会の参加者名簿には「氏名」「都道府県・指定都市名」「施設名」「職種」を記載いたします。
- ・なお、本研修会の申込み受付等に関する業務を(株)JTB ビジネスネットワークに委託・実施するため、上記の目的の範囲に加え、宿泊手配等のサービス提供を目的として情報を共有します。

◆問合せ (公社)全国私立保育園連盟 〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10
TEL 03-3865-3880 FAX 03-3865-3879

ご旅行条件（要約）

お申し込みの際には、必ず旅行条件書（全文）をお受け取りいただき、事前に内容をご確認の上お申し込みください。

●募集型企画旅行契約

この旅行は（株）JTBエコーレイト-HA（東京都千代田区霞が関3-2-5 観光庁長官登録旅行業第1767号。以下「当社」という）が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約（以下「旅行契約」という）を締結することになります。また、旅行条件は、下記によるほか、別途お渡しする旅行条件書（全文）、出発前にお渡しする最終日程表と称する確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によりります。

●旅行のお申し込み及び契約成立時期

- (1) 必要事項をお申し出のうえ、下記の申込金を添えてお申し込みください。お申込金は、旅行代金お支払いの差引引かせていただきます。
- (2) 電話、郵便、ファクシミリその他の通信手段でお申し込みの場合、当社が予約の承諾の旨通知した翌日から起算して3日以内に申込書の提出と申込金の支払をしていただきます。
- (3) 旅行契約は、当社が契約の締結を承諾し、申込金を受領したときに成立するものとします。
- (4) お申込金（おひとり）参加に係る金額をお支払ください。

●旅行代金のお支払い

旅行代金は旅行出発日の前日からさかのぼって13日目にあたる日より前（お申し込みが間際の場合は当社が指定する期日まで）にお支払ください。また、お客様が当社提携カード会社のカード会員である場合、お客様の署名なくして旅行代金、取消料、追加諸費用などをお支払いいただくことがあります。この場合のカード利用日は、お客様からお申し出がない限り、お客様の承諾日といたします。

●取消料

旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、次の金額を取消料として申し受けれます。

契約解除の日		取消料（お1人様）
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって	1. 21日目にあたる日以前の解除（日帰り旅行にあっては11日目）	無料
	2. 20日目（日帰り旅行にあっては10日目）にあたる日以降の解除（3～5を除く）	旅行代金の20%
	3. 旅行開始日の前日の解除	旅行代金の40%
	4. 当日の解除（5を除く）	旅行代金の50%
	5. 旅行開始後の解除又は無連絡不参加	旅行代金の100%

* 貸切船舶を利用する旅行については、上記の表によらず、コースページ内に記載する取消料に拠ります。

●旅行代金に含まれるもの

旅行日程に明示した運送機関の運賃・料金（注釈のないかぎりエコノミークラス）、宿泊費、食事代、及び消費税等諸税これらの費用は、お客様の都合により一部利用されなくても原則として払い戻しいたしません。
（コースに含まれない交通費等の諸費用及び個人的費用は含みません。）

●特別補償

当社は、当社又は当社が手配を代行させた者の故意又は過失の有無にかかわらず、募集型企画旅行約款別紙特別補償規程に基づき、お客様が募集型企画旅行参加中に急激かつ偶然な外来の事故により、その身体、生命又は手荷物上に被った一定の損害について、以下の金額の範囲において、補償金又は見舞金を支払います。
死亡補償金：1500万円、入院見舞金：2～20万円、通院見舞金：1～5万円、
携行品損害補償金：お客様1名につき～15万円（但し、補償対象品1個あたり10万円を限度とします。）

●国内旅行保険への加入について

ご旅行中、けがをした場合、多額の治療費、移送費等がかかることがあります。また、事故の場合、加害者への損害賠償請求や賠償金の回収が大変困難であるのが実情です。これらの治療費、移送費、また、死亡・後遺障害等を担保するため、お客様自身で充分な額の国内旅行保険に加入することをお勧めします。詳細については、販売店の係員にお問合せください。

●事故等のお申出について

旅行中に、事故などが生じた場合は、直ちに同行の添乗員・現地係員・運送・宿泊機関等旅行サービス提供機関、又は、お申込店にご通知ください。（もし、通知できない事情がある場合は、その事情がなくなり次第ご通知ください。）

●個人情報の取扱について

- (1) 当社及び販売店は、旅行申込の際に提出された申込書等に記載された個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただくほか、お客様がお申し込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及びそれらのサービスの受領のために手続に必要な範囲内で利用させていただきます。
- (2) 当社は、旅行先でのお客様のお買い物等の便宜のため、当社の保有するお客様の個人情報や土産物店に提供することがあります。この場合、お客様の氏名及び搭乗される航空便名等に添った個人情報をお知らせするサービスの方法等でお知らせいたします。なお、これらの個人情報の提供の停止を希望される場合は、お申込店に出发前までにお申し出ください。

●旅行条件・旅行代金の基準

この旅行条件は2016年8月1日を基準としています。又、旅行代金は2016年8月1日現在の有効な運賃・規則を基準として算出しています。

申込書記入について

※ 太枠内の記入をお願いします。
間違い防止のため、お名前などのフリガナは必ず記入ください。

会員・非会員のいずれか○で囲んでください。
登録コード番号は【保育通信】発送用封筒の貴園宛名行下段に印刷された番号です。⇒

FAX 到着後、10 日以内に必ず入金してください。
万一、定員に達している場合はキャンセル待ちの旨お知らせしますので、入金はお待ちください。⇒

- * この【申込書 兼 受付確認書】は施設毎に1枚ご記入ください。
用紙が足りない場合はコピーしてお使いください。
- * お申込いただいた後、2週間以内に研修会受理のFAX をお送りいたします。
その時に金額と分科会を明記いたします。
- * 追加・変更・取消の場合は、【申込書 兼 受付確認書】控えにご記入のうえ、必ずFAXでご連絡ください。（申込日・変更日を忘れずにご記入ください）

申込内容等の確認連絡に対応いただける方の氏名と連絡先をご記入ください。⇒

お申し込み・お問い合わせ先
(株) JTB ビジネスネットワーク
(担当：勝見)

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 3-23-14
ダイハツニッセイ池袋ビル7F
TEL 03-5949-1338 / FAX 03-5396-8140
営業時間：月～金曜日 9:30～17:30 / 土・日・祝休み

【参加費について】 ■ 1名につき会員19,000円 非会員21,000円です。⇒

【懇親会について】 ■ お料理はコース料理を着席スタイルにてご提供します。⇒

【分科会について】 ■ 各分科会ともに定員がございますのでお早めにお申し込みください。
■ 定員を超えた場合は他の分科会へ振替をお願いすることになります。
必ず第2希望までご記入ください。
第2希望のご記入がない場合は、こちらで振り分けさせていただきます。⇒

【昼食について】 ■ ホテル内にもレストラン等ございますが、混み合う可能性と限られた時間しかございませんのでご注意ください。なお、ホテル規則により会場で用意するお弁当以外の食べ物の持ち込みはご遠慮いただいておりますので、予めご了承ください。⇒

【宿泊について】 ■ 料金はシングル13,000円 ツイン10,800円（1泊朝食付）です。
■ 同室希望者が同一園 ⇒ お名前を記入ください。
■ 同室希望者が他園 ⇒ 園名・お名前を記入ください。
■ 同室希望者が複数 ⇒ 備考へ記入ください。
■ シングルタイプのお部屋を希望の方はお早めにお申し込みください。（200ルームご用意しております）⇒

■ 喫煙・禁煙ルームについては、部屋数の関係でご希望に沿うことができない場合がございますので、ご了承ください。⇒

■ 返金の場合の送金先を正確にご記入ください。⇒

申込書 兼 受付確認書

送信先FAX 03-5396-8140

新規 ・ 変更 ・ 取消

○で囲んでください

都道府県		
組織名		
	会員	非会員
登録コード番号	—	

		受付 No.
申込日	月 日	
変更①	月 日	
変更②	月 日	

⇒

⇒ FAX 到着後、10日以内にお支払いください。

(株) JTB ビジネスネットワーク

定員に達していますのでキャンセル待ちとなります。

TEL 03(5949)1338 FAX 03(5396)8140

入金はお待ちください。(キャンセル待ち 番目)

施設名	フリガナ		
住所	(〒 -) ※必ずご記入ください		
連絡先	TEL - -	FAX - -	
担当者連絡先	氏名	連絡先(携帯番号等)	- -

⇒

《 記入例 》

《参加者①》

《参加者②》

《参加者③》

参加者名		必ずご記入ください		フリガナ	フリガナ	フリガナ	
神戸 華子							
職名		園長					
性別・年齢		男・女 (50) 歳		男・女 () 歳	男・女 () 歳	男・女 () 歳	
参加費		会員	非会員	19,000	会員 非会員	会員 非会員	
<small>(会員19,000円 / 非会員21,000円)</small>		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>				
25日(水)	懇親会 (8,500円)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	8,500	要 不要	要 不要	
26日(木)	希望分科会	第1希望	1	第1希望	第1希望	第1希望	
		第2希望	4	第2希望	第2希望	第2希望	
26日(木)	昼食 (1,900円)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	1,900	要 不要	要 不要	
宿泊希望	24日(火)前泊	シングル		シングル	シングル	シングル	
		ツイン		ツイン	ツイン	ツイン	
	25日(水)	シングル		10,800	シングル	シングル	シングル
		<input checked="" type="radio"/> ツイン			ツイン	ツイン	ツイン
	26日(木)	シングル		10,800	シングル	シングル	シングル
		<input checked="" type="radio"/> ツイン			ツイン	ツイン	ツイン
27日(金)後泊	シングル			シングル	シングル	シングル	
宿泊代合計				21,600			
同室希望者		たいとう 保育園 蔵前 華代					
喫煙禁煙希望		喫煙	<input type="radio"/>	喫煙	喫煙	喫煙	
		禁煙	<input checked="" type="radio"/>	禁煙	禁煙	禁煙	
個人小計				51,000			
備考					合計金額	円	

⇒

○返金の場合の送金先

銀行名	支店名	口座番号(普通・当座)	口座名義(ふりがなをつけてください)

⇒